

## 令和4年度事業計画について

コロナ禍の影響から、農畜産物の価格低迷等から地域農業の衰退が懸念される中地域農業の振興と集落及び担い手支援を中心に事業展開を図ります。

令和4年度も引き続き、受託事業、担い手・集落支援の観点から、農業経営サポート機構の関係機関と連携の上、最新情報提供及び技術の共有を図りながら地域農業振興に努めて参ります。

また、自社事業拡大の観点から、既存事業の拡大や新規作物産地化のため、新品目導入及び面積拡大を図ると共に、国見・安岐事業所の一体的な取組を進めます。合わせて市担当部局と共同歩調を図ることで、国東市農業振興の一翼を担って行きます。

### 1. 農地利用集積円滑化事業

中間管理機構や関係機関と連携して、担い手への農地集積や新たな農地管理契約に基づき耕作放棄地防止に努めます。

### 2. 農作業受託事業

市内農業者の高齢化が進行する中、認定農業者や農業法人組織の手の行きとどかない、担い手不足地域での公社がその役割を果たし、持続的農業経営をつなぐ為の作業受託に引き続き取り組んで行きます。また、令和3年度より国東市が産地化を進める玉ねぎ、かんしょの作付けから収穫までの作業受託の対応をします。

### 3. 中核的担い手及び新規就農者の育成事業

#### (1) こねぎトレーニングファーム研修施設運営

こねぎトレーニングファーム研修施設運営としては、本年1月28日、関係機関で組織する審査会にて、1組2名の8期生が承認・決定され、令和4年4月入講となります。

来年度より、研修期間を2年間に変更し、1年目は実習・座学など経営学を学び、2年目は、模擬経営をすることとし、より実践的な研修で優秀な人材育成を目指していきます。また卒業生への経営安定についても、関係機関との情報共有によるサポート体制強化を図ります。

#### (2) 地域農業の経営サポート機構

令和4年度新たな取組として、多面的機能支払交付金事務委託業務を取り入れ、これからの公社の新たな収益事業として取り組みます。

引き続き、国東市地域農業経営サポート機構構成員との連携により、集落支援や担い手の経営力強化を図ります。また国東市産玉ねぎ・かんしょの産地化に向けた取組についても事業支援を行います。

総体的には、市農業振興計画に沿った品目の産地形成に、公社ならではの役割と技術で地域農業の発展及び振興に寄与して参ります。

#### 4. 特産品の生産・販売に関する事業

公社管理地では、こねぎ、麦、水稻の主要品目に加え、昨年度実績済のタマネギ育苗に力を入れ、産地化に向けて市担当部署と連携して取組を進めます。

米販売については、公社水稻「こつぶっこ：発酵有機肥料」を特徴的な米として、面積を拡大して販売を進めます。

また昨年度取り組んだバジル栽培技術取得研修の知識・技術力をもって新規導入者の作業受託により、生産基盤を支える仕組みづくりを検討します。

今後、既存の機械及び施設等を活かした事業拡大を図ることで、公社独自の収益確保の確立を目指します。